外房大原港出船のマダイ乗合にて

感度と操作性にこだわったマダイロッドの決定版

がま船 三石 忍 ひとつテンヤ真鯛Ⅲが外房のマダイを釣りまくる 真価を発揮

★軽量、高感度、操作性、ロッドバランスのいずれにも長けた次世代テンヤマダイロッドだ

★釣った数は30枚以上、キープは11枚。三石さんと次世代ロッドがタッグを組んだ結果だ

◉外房から茨城県海域でヒラメや青物と並んで人気なのが一つテンヤで狙うマダイだ。高水温の影響か、各地で中小型の数釣りが継続中。今回は三石忍さんが外房大原沖に釣行した模様をお届けする。年末年始の狙い目としても絶好のターゲット、これからの釣行には手助けとなるはずである。

◀バットパワーもあるので大ダイにも対応できる
▶アイテムは3種。あらゆる状況に対応できるはず

タチウオを始めとし、カワハギ、フグ釣りなどに明け暮れる三石忍さんが久しぶりに足を向けたのが外房大原港。目下絶好調のマダイを、どうしても釣ってみたいというのが本音らしい。

乗船したのは周年マダイの釣りが看板の富士丸。坂下隆一船長とは古くからの付き合いで、これまで何度も大ダイを釣らせてもらった信頼の船宿だ。

「数は釣れているけど、大ダイは運だよ」と言う状況説明を受け、5時過ぎに出船する。ところが港を出たとたん、前日までの北東風の影響か高いウネリに見舞われる。ゆっくりと船を進め、約1時間で大原沖の水深20メートル前後のポイントに到着する。

三石さんが持参した竿は、本人も監修に加わった「がま船ひとつテンヤ真鯛Ⅲ」3モデル。今年5月に発売されて以来、全国のテンヤマダイファンに支持されている次世代マダイロッドだ。

「この風とウネリ、普段ならMなんですけど、今日はMHを使います」と三石さん。この状況では操作性優先というわけだ。使用するテンヤも通常なら6号あたりが妥当だが、船の流れが速いので10号からのスタートだった。

10分ほどたって早くも三石さんが竿を曲げて0.3キロ級、続いての投入でも同級を抜き上げる。ていねいにハリを外してリリースしながら、

「そのうちいい型もくるでしょう。それまではアタリを逃さず掛け続けることです」と三石さん。

船中でもポツポツと釣れ始めるが、ダントツに掛けるのは三石さんだ。竿をうまくコントロールして高いウネリをかわす。これだけのウネリでも穂先がブレずに、正確にアタリをとらえるのはテクニックだけでなく、操作性に優れる竿があってこそだ。

黙もくと掛けまくる三石さん。船長の言うとおり、時おりは0.5～0.7キロ級が交じってくるようになった。聞けばテンヤは13号に替えているという。

「仕掛けを安定させるため、テンヤを重くしました。この竿は重めのテンヤを使っても軽快な使用感を得られるのが特長でもあるんです」

誘いや合わせなど、一連の操作を片手一本でこなす三石さん。13号のテンヤでも切れのよいアクションを見せる秘訣は、そんなところにもあったのだろう。

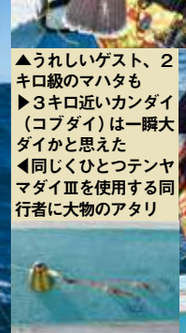
11時過ぎに納竿。船中釣果は0.3～2.7キロを0（船酔い者）～13枚とあるが、三石さんが釣った数は30枚以上、うち0.4キロ以上のみを11枚キープ。

「小物釣りが好きな私は数釣りも大好きなんです。願わくば1キロ以上がほしかったけど」と満足げに船を下りた。

▲高いウネリに見舞われた一日だった

▲次から次と掛けまくる三石さん

▲イナダも暴れまくった



▲スタートは10号、終盤は13号にチェンジ

▲うれしいゲスト、2キロ級のマハタも
▶3キロ近いカンダイ（コブダイ）は一瞬大ダイかと思えた
◀同じくひとつテンヤマダイⅢを使用する同行者に大物のアタリ

★この日最大、2.7キロの良型

次世代テンヤマダイロッド がま船ひとつテンヤ真鯛Ⅲ

◉一つテンヤマダイの専用竿として全国のファンに支持される「がま船ひとつテンヤ真鯛」、今年5月に発売された3代目はさらなる進化を遂げている。

「2代目と比べてまるで別ものです」と三石さん。その真意は圧倒的な感度、操作性に加え、本文にもあったとおりテンヤの重さに左右されないバランスのよさにもある。前モデルに比べて先調子に振りつつ、スーパートップ採用の穂先はしなやか設定。目感度はもちろん、微細なアタリや確実な底取りなど、細やかな変化の表現力に優れ、攻めの釣りを楽しめるアクションとなっている。ブランクスには高強度「TORAYCA®1100G」を採用し、3モデルとも大ダイとのヤリトリも楽らくこなすパワーを備えている。好評発売中。

▲穂先はさらに繊細になったスーパートップ。上からH、MH、M
◀感度アップのリザウンドグリップ採用

◉オモリ10号使用時

タイプ	標準全長(m)	希望本体価格(円)	標準自重(g)	仕舞寸法(cm)	使用材料(%)	モーメント	継数(本)	先径(mm)	錘負荷(号)
H	2.5	44,000	115	130.5	C99.9 G0.1	6.8	2	0.8	6～25
MH	2.5	43,500	113	130.5	C99.9 G0.1	6.6	2	0.8	3～15
M	2.5	43,000	112	130.5	C99.9 G0.1	6.4	2	0.8	1.5～12

※C＝カーボンファイバー、G＝グラスファイバー。モーメント＝標準自重(kg)×竿尻から重心までの長さ(cm)。希望本体価格には消費税は含まれておりません。

◉Presented by Gamakatsu　問い合わせ＝がまかつ㈱0800・222・5895

取材協力◉外房大原港　富士丸 ☎0470・62・2016